

こくろう秋田

第75回国労秋田地本 定期地方大会終了

全体で一步進もう

11月7日、国労秋田地方本部は秋田市・くらしと労働会館にて第75回定期大会を開催しました。



新型コロナウイルス感染症防止対策として、消毒と換気を実施し、来賓は招待せず役員と代議員で時間

国鉄労働組合
秋田地方本部
秋田市中通
7-2-21
☎018-832-3775
発行責任者 佐藤浩一
編集責任者 編集部

高橋毅副委員長は開会あいさつで「コロナ禍で全国・東日本大会が書面開催となる中、地方本部は感染防止対策を取った上で開催する事とした。様々な問題に対して、代議員の皆さんの発言で国労強化発展にむけて協力をお願いする」との話があり、加賀谷議運委員長から代議員・役員全員の出席が報告されました。

議長には総合車両センターの村越代議員を選出し、議事は順調に進行しました。

佐藤浩一執行委員長からは別掲のあいさつがあり、大会開催延期承認、協定の締結承認、決算、運動方針提起と続き、4名の代議員からの発言がありました。



◎横手連合分会
柴田代議員

方針に賛成する立場で発言。分会活動へのご協力に感謝。運輸区班で1名脱退で申し訳ない。コロナ禍で一人一人には話すことが出来るが複数ではできないので歯がゆい。冬期助動見習い3名、国鉄採用者は今年で終了。来年はどうなることか。...



第75回定期地方大会にお集まりの代議員、構成員の皆さん大変お疲れ様です。
秋田県では秋田支社バスケット部のクラスター発生などすでに60人を超える新型コロナウイルス感染者が発生し感染終息の兆しはありません。

私たちは、雇用と生活を守り、安全とサービスの低下につながる合理化施策を認めず、職場労働条件、環境改善の取り組みを強めていかなければなりません
年末手当は、内部留保を活用し社員、グループ会社社員の奮闘にこたえるべきです。

今の私たちにあって本気になって成し遂げなければならぬ課題は組織の強化・拡大です。会社と東労組の蜜月関係が破たんし、東労組は事実上瓦解に至りました。3万6千を超えるといわれる未加入者が職場にいる状況は、異常というしかありません。職場代表選挙に立候補した国労組合員は地本内で初めて過半数代表者に選出され、労働組合不要論への大きな抵抗の一步になったといえます。未加入者に対して、すべての組合員が気持を一つに国労加入を訴えることが大切になっていきます。労働者の要求に基づき一人一人が足を踏み出し、運動を前進させ、必ずや成果を上げることが出来るはず。今こそ本気で組織拡

大に向けて取り組み奮闘をお願いしたいと思います。
職場での労働条件改善を求める創意工夫した取り組み、そして、地域での共闘の仲間との取り組み、民意不在の菅政権に対して国民的運動を構築し、野党と市民が共闘して奮闘する必要があります。
組合員の皆さんの知恵と工夫と協力をいただきながら、創意ある運動を作り上げていきたいと考えます。
地方本部執行委員会がその先頭に立ち奮闘する決意を申し上げます。(抜粋)

- ### 行事予定
- 11/29(土)東北協議会総会
 - 12/5(土)国労全国代表者会議
 - 12/5(土)横手連合分会大会
 - 12/12(土)地本執行委員会
 - 1/9(土)県労連春闘討論集会
 - 1/16(土)地本執行委員会
 - 1/16(土)労働講座
 - 1/16(土)地本新春旗開き12:30

- メッセージ紹介(敬称略・順不同)
- 秋田県労働組合総連合
- 秋田県交運労働協議会
- 秋田県平和運動推進労働協議会
- 秋田県高等学校教職員組合
- 建交労秋田県本部
- 社民党秋田県連合
- 日本共産党秋田県委員会
- 全国交運共済生協秋田事業部
- 鉄道退職者の会秋田地方連合会
- 東北労働金庫秋田県本部
- 秋田県労働者学習協会
- 秋田県平和委員会
- 年金者組合秋田県本部
- 国鉄労働組合東日本本部
- 国鉄労働組合東北協議会
- 国鉄労働組合盛岡地方本部
- 国鉄労働組合仙台地方本部
- 国鉄労働組合新潟地方本部
- 国鉄労働組合高崎地方本部
- 国鉄労働組合水戸地方本部
- 国鉄労働組合東京地方本部
- 国鉄労働組合千葉地方本部
- 国鉄労働組合長野地方本部

代運輸区へ。大曲駅にも異動。
 今年の昇進試験は秋田市に集約。県南からは大変だ。地本からも話してほしい。

◎貨物から特別発言(高橋毅)
 昨年の貨物の経営状況、災害で打撃があったものの運賃値上げなどで黒字経営。
 旅客は赤字だが輸送は宅配増で、対前年比9割で経常利益は確保できる見込み。

◎北奥羽連合分会
 伊藤代議員
 方針に賛成。
 分会14名、組織再編でつがる運輸区の青森から分会へ。通勤が大変なため前泊後泊。勤務指定で車掌の行路によって通勤費が出る場合と出ない場合あり。自腹で通勤。つがる運輸区と顔合わせ3回実施。駅は大館と鷹ノ巣合わせて国労組合員2名。



LivingIT新入社員はコロナ禍で見習い不足。車掌の車内検札は非接触でスタンブ省略もあるのでは。
 昨日白沢で信号故障。3時間ほど停車。指令とのやり取りは偽装請負の疑い。指令では徹底されていない。
 鷹ノ巣駅のテレビの故障、JRでは買う意思なし。LivingITで購入した。待合室にあるテレビ

は寄付なので故障しても購入なし。
 勤務時間前に金庫のカギを開けたことに対し監査とやり取り。次回ダイヤ改正で窓口の準備時間を長くすることになった。

リモート環境について大館、青森から移動を伴わずにリモートでやる方向で出来ないか。地本では具体的にはどのようなようになっているか？

14名中9名が青森県在住。大也会も青森県で開催もある。鷹ノ巣、二ツ井、大館の要員を回し運用。廃止の布石か。今後の委託に対しては議員を使うなど対抗策を。

◎秋田連合分会
 吉田代議員
 秋田駅要員削減6人の泊り勤務から5人の泊り勤務。これで果たして仕事が回るのだろうか？
 コロナ禍でお客さんの減少、作業量も減少。3月のダイヤ改正で輸送本部も指令に統合された。仕事は楽になってきている。コロナが回復した時に一体どうなっていくんだろう？



事務室内に溢れかえっている社員は、収入確保でマイプロなどに取り組まれている。以前あった点検摘発運動はとても素晴らしい運動だった。会社はタ

レットで問題点が無いかと聞いている。組合の存在意義はそこにあるのではないかと聞

◎秋田総合車両センター
 堀井代議員
 (在宅の話が出たので)事務所はテレワーク、現場は無し。高田工業三日間のテレワーク、マスク配布も交渉して実施。
 コロナによる減収、車両の外板の塗装しないことを検討している。国労39名、うち本体9名エルダー20名。

◆宇佐美書記長答弁、試験の開催場所は把握していなかった。機会を通じて話す。県北方向は？県南でも開催するよう会社に伝えたい。

リモートについて 地方は大会を開催できているが、リモートではまだ考えてない。通信機器は拡大解釈でも良いので申告を。スマホで個人負担なども含めて。



◆宮崎業務部長答弁、前泊後泊の件は必要なら申を出す。切符の車内検札の非接触も。◇書記長集約
 LivingIT含めて意見を言える機会は大事。
 現場の生の声を生かして運動を進めていきたい。業務の委託が進んでいる。委託会社について

てはJR側では何もできないというのが会社の一貫した方針。
 労働組合の存在価値は問題を洗い出し、要求の改善を図ることである。愚痴で終わらせないことが肝要。仲間を増やす活動、日常的な会話の中でそこに潜む問題点を見つけ出し、現場であることを意識して。組合員が主人公、組合機関はその先頭になって取り組む。

職場の労働条件改善、未組織の労働者は解決方法が分からない。根拠と闘い方を教える。
 会社側が指導できないとする別会社にも対応していく。職場の皆さんの声が大事。

組織拡大行動はいつからか？国労発足時から。人が一番の財産。国労75年の闘いは続いている。若い人を入れて無責任と思

うか？否、国労をなくすことが無責任。
 ◎スト権一票投票
 賛成が11名中11名で100パーセントとなり、スト権を確立し、地方委員選出では5名の地方委員が定数通りの立候補で選出されました。

◎機関紙表彰
 「秋田総合車両センター支部」と「横手連合分会」が表彰されました。
 そして大会宣言を宮崎執行委員が読み上げて提案し、全員の

秋田総合車セ支部



横手連合分会



拍手で承認されました。最後は佐藤浩一執行委員長の団結カンパローで無事に大会を終りました。



地方本部役員 今年改選なし
 執行委員長 佐藤 浩一
 執行副委員長 高橋 毅
 書記長 宇佐美久蔵
 執行委員 小嶋 敏明
 執行委員 高橋 芳美
 執行委員 加賀谷章夫
 執行委員 宮崎 和孝
 特別執行委員 後藤 重文
 会計監査 佐野 誠司
 会計監査 茂呂 彦悦